

アクションプラン案に関するブラッシュアップについて

第六期第1回板橋区緑と公園の推進会議
※第五期第7回板橋区緑と公園の推進会議にて使用した資料

推進会議意見

ブラッシュアップ案

参考資料4-3

赤塚植物園を活用しながら
検討可能なものから調整・実施していく

① ツアーイベントの実施時間を短くする

- ・気軽に参加できるように
- ・子供が飽きないように

土日開催、子供の体力、集中力の面から、コンパクトな内容にする

② ターゲット層を絞らず、単発で終わらせない

- ・様々な層の参加を促す
- ・コンセプトを明確にする
- ・単発で終わらせない

「交流」、「健康」など、ツアーイベント毎に異なるコンセプトをもたせ、定期的に実施する

③ 地域を巻き込み、区全体へ広げていけるようにしたい

- ・区全体へ「自分ごと化」が広がるように
- ・地域を巻き込みたい
- ・緑を守り育ててきた人に注目をするべき
- ・教えたい・伝えたい人に活躍の場を
- ・物見遊山で終わらせない
- ・協働を盛り込むとよい
- ・若い力を取り込むとよい
- ・ツアーイベントを周知・拡散すべき
- ・「組織」の他「人」とも連携を
- ・地域の担い手を作る
- ・親父の会に連携をもちかけてみては

赤塚植物園を活用し、新たな地域の担い手を育成する。また、地域や区民団体で、緑を守り育てている方、教えていきたい方、中高生等の若い方から力を借りて、今度は参加者が情報発信したり、区内の様々な地域でアクションを起こしていく力を与えられるような、参加・育成形ツアーイベントにする。

④ 自然を体験できるイベントにする

- ・食べることで自然を体験できる
- ・地域の特徴を紐づけると強く印象に残る
- ・スラックライン等自然の中での遊びを
- ・SDGsの「健康と福祉」と緑が関連する

自然を用いて遊んだり、その地域特有の名産物を食したり、湧水などの地理的特徴を生かしたツアーイベントにする。緑の中での健康を取り上げる

⑤ 板橋のイメージを覆すキャッチーなデザインが必要

- ・板橋のデザインはダサイ
- ・デザイナーの力を活用すべき

ローカルデザイナー等にコンペを行うなど、お金をかけてでも、デザインに力を入れるべきである